



本年度アカデミー賞 最優秀主演男優賞受賞 [ニコラス ケイジ]

ゴールデングローブ賞 最優秀主演男優賞受賞

全米批評家協会賞 最優秀監督賞・最優秀主演男優賞・最優秀主演女優賞受賞

ニューヨーク批評家協会賞 最優秀作品賞・最優秀主演男優賞受賞

ロサンゼルス批評家協会賞 最優秀作品賞・最優秀監督賞・最優秀主演男優賞・最優秀主演女優賞受賞

ニコラス・ケイジ

エリザベス・シュー

きれいごとの愛じゃない。

リービング・ラスベガス

マイク フィッギス 監督作品

ルミエールピクチャーズ プレゼンツ リラカゼスプロダクション マイクフィッギス作品

ニコラスケイジ エリザベスシュー ジュリアンサンズ "LEAVING LAS VEGAS"

音楽 マイクフィッギス 編集 ジョンスミス プロダクション・デザイナー ウォルデマーカリノフスキー

撮影 デ克蘭クイン エグゼクティブプロデューサー ペイジシン普森AND スチュアートレジン

原作 ジョンオプライエン 脚本 マイクフィッギス

製作 リラカゼスAND アニースチュアート

監督 マイクフィッギス

オリジナル・サウンドトラック：ホリトール 原作：角川文庫刊

提供・配給協力：バイオニアLDC 配給：日本ヘラルド映画

R 一般映画制限

WGC

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

MPAA

40

男はアル中で、女は娼婦。人生に疲れ果てたふたりが眠らない街で見つけた、つらく、せつない、ラブ・ストーリー。それはただ一度の、心からの愛だった。



STORY

映画の脚本家だったベン(ニコラス・ケイジ)は、ラスベガスへと、車を走らせていた。酒びたりの生活のせいで、会社をクビになったのだ。そのとき彼は、死ぬまで酒を飲み続けよう決めていた。ラスベガスに着いたベンは、娼婦のサラ(エリザベス・シュー)と出会う。

ベンのもてれへ行き、心安らく時間を過ごすことのできたサラ。愛の予感を感じた彼女はベンの優しく悲しげな面影を求めて再び彼の元へと向った。サラのフラットに誘われたベンは、そこを「天使の家」と呼ぶ。一緒に暮らそうと言うサラに、ベンはきっぱりと告げる。絶対に酒をよせと言ふ。自分も、サラの仕事には口出ししない。それはそれぞれの立場を納得した上での同居生活だった。

しかし、二人の同居は、平穏ではなかった。リゾート・ホテルでは、行動の異常さのあまり、追い出されてしまう。フラットの大家も、機嫌が悪そうだ。次々に行き場を失うベンとサラ。アルコールに蝕まれたベンは、ますます正気を失っていく。ある時、サラが帰ると、ベンが娼婦を連れ込んでいた。激怒したサラはベンに家を去るように言う。

また繰り返される、孤独な日々。本当は会いたくて、ベンを探しまわるサラ。しかし、彼はどこにもいない。傷心のサラが家に戻ると電話が鳴る。聞こえてきたのは愛しいベンの声だった……。

リービング・ラスベガス

ルミエール ピクチャーズ プレゼンツ リラ カセス プロダクション マイク フィッグス 作品
ニコラス ケイジ エリザベス シュー ジュリアン サンズ "LEAVING LAS VEGAS"
1995年/アメリカ映画/カラー作品 上映時間:1時間52分
ビスタ・サイズ/ドルビーSR 字幕:戸田奈津子
オリジナル・サウンドトラック:ボリドール 原作:角川文庫刊
提供・配給協力:パイオニアLDC 配給:日本ヘラルド映画

© 1995 映画制作

INTRODUCTION

本年度アカデミー賞 最優秀主演男優賞をはじめ、各映画賞を総なめにした、「リービング・ラスベガス」。シンプルなボーイ・ミーツ・ガールの物語が、既成のハリウッド映画とは異なる大胆な語り口で映像化され、近年最高のラブ・ストーリーとなった。

どこまでも酒にのめり込むベンを演じるニコラス・ケイジは、パターンに陥りがちなアルコール中毒者の役を独特のセンスで演じきり、見事にアカデミー主演男優賞を手にした。

心優しき娼婦、サラ役を演じるのは「ベスト・キッド」や「カクテル」のエリザベス・シュー。大人の女優として新境地を切り開き、アカデミー主演女優賞にノミネートされた。

二人の新鮮な魅力を引き出してみせたのが、「背徳の囁き」のマイク・フィッグス監督。インディペンデント作品ながらも若い才能同士が出合い、息の合ったコラボレーションを見せた結果、メジャー大作をしのぐ中身の濃い映画が生まれたのだ。

原作はジョン・オブライエンが91年に書いた自伝的小説で、自身もアルコール中毒だった彼は、映画化権を製作者に売った直後に、自殺している。

脚色、そして音楽は、監督のフィッグスが、自ら担当。スティング、ドン・ヘンリー、マイケル・マクドナルドといった超大物たちの曲も使われ、映画のムードを盛り上げる。また、ピアニスト・ウエストウッドが特にサラのために衣裳を提供している。

主役の二人を中心にドラマは展開するが、「裸のランチ」のジュリアン・サンズがサラのヒモ役に登場するほか、多彩なメンバーがゲスト出演している。女優のヴァレリア・ゴリノ、監督のボブ・ラファエルソン、ミュージシャンのジュリアン・レノンやルー・ロウルズ。彼らはフィッグス監督の才能に惚れ込み、本作品に、喜んで出演したという。



「リービング・ラスベガス」に寄せられた賛辞

魅惑的でくっつけて忘れることのできないラブ・ストーリー。この映画を支えるニコラス・ケイジとエリザベス・シューはそのキャリアにおいて最高の演技を見せる。——「ローリング・ストーン誌」ピーター・トラバース

ケイジはハリウッドでは貴重な個性派男優として活躍してきたが、今回の大胆な演技も驚嘆に値する。官能的でタフなエリザベス・シューはただの清纯派から本物の血の通った女優に成長した。

——「ヴォーグ誌」ジョン・パワース

シューには驚かされた。どこまでも優しく、たまらなくセクシー。ベン役のケイジにも興奮させられる。——「コスモポリタン誌」ガイ・フラトリー

見事な出来ばえ……感情に流されすぎない原作のトーンをフィッグスは脚本でも生かしている。この作品の斬新でリアルな語り口を見てしまうと、従来通りのストーリーテリングがなんだか退屈で、つまらないものに思えてくる。

——「ニューヨーカー誌」テレンス・ラファティ

フィッグスは独自の雰囲気を生み出す為に、音楽をうまく映像にはめこんでいる。自身のオリジナル曲だけではなく、ソウルあふれるスタンダード・ナンバーも登場。その使い方の見事さはいつまでも人々の記憶に残るだろう。

——「ロサンゼルス・タイムズ紙」ケネス・ターラン

第68回アカデミー賞主演女優賞 スーザン・サラドン

デッドマン・ウォーキング

第68回アカデミー賞主演男優賞 ニコラス・ケイジ

リービング・ラスベガス

1月18日(土) ▶ 31日(金) 一挙公開

京王・世田谷線下高井戸駅徒歩1分 TEL (3328)1008

下高井戸シネマ

1/18	テッドマ -24	12:05	4:25	1/25	リーベ -31	12:15	4:35
	リーベ	10:05	2:25		テッドマ	10:00	2:20
			6:45				6:40

● 特別鑑賞券発売中 ●

一般 ¥1,300 / 学生 ¥1,100

(当日 一般 ¥1,600 / 学生 ¥1,300 / シニア ¥1,000)

毎火曜日はレディースデー! 女性の方 ¥1,000 でご覧いただけます

割引券 このチラシ御持参の方、当日料金より割引致します。一枚で3名様有効。